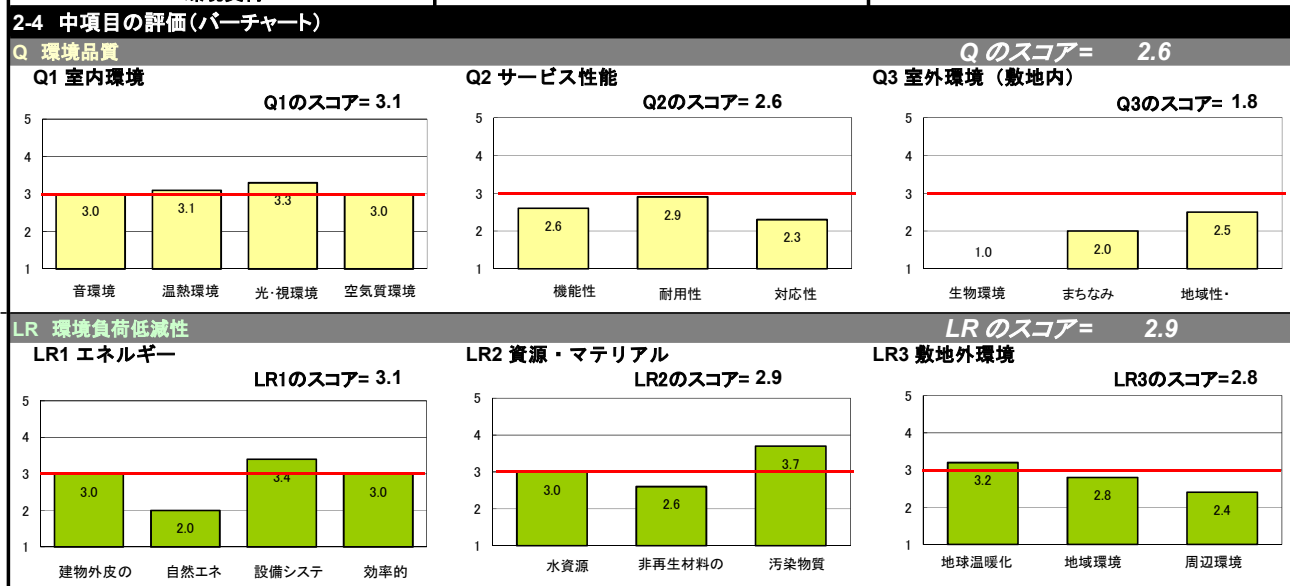
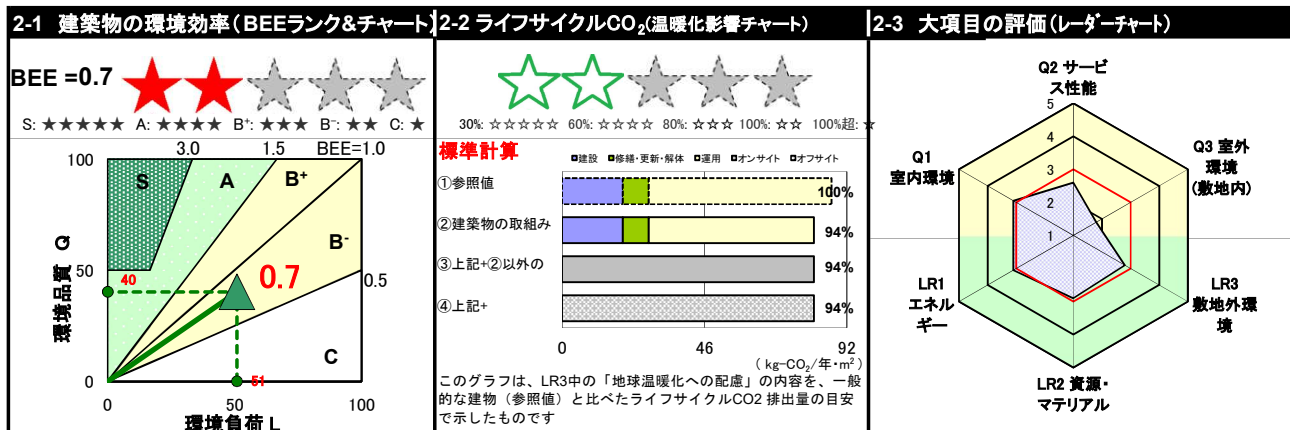


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚市八重咲町プロジェクト 新築工事	階数	地上11F
建設地	神奈川県平塚市八重咲町7-13	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	128 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年6月 予定	評価の実施日	2024年10月29日
敷地面積	400 m ²	作成者	大東建託株式会社
建築面積	261 m ²	確認日	2024年10月29日
延床面積	2,088 m ²	確認者	大東建託株式会社



3 設計上の配慮事項		
総合		
本計画は平塚駅の南側に位置し、計画地周辺は落ち着いた街並みが形成されている地域である。本計画では華美な装飾は避け、機能的且つ洗練された建物として計画した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆☆の建材を積極的に採用し、化学物質による空気汚染が起りにくい室内環境となるよう計画した。	特になし。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱等級4を取得可能な断熱性能を確保し、LED照明を採用することでエネルギー消費に配慮した計画とした。	リサイクル材を積極的に取り入れ環境負荷低減に配慮した。使用する断熱材は発泡剤がノンフロンのもので選択した。	LED照明、潜熱回収型給湯器を各住戸に採用することで、運用時のCO ₂ 排出量に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される